

動物用医薬品

要指示医薬品

安息香酸エストラジオール注射液

動物用オバホルモン[®]注
OVAHORMON[®]INJECTION貯 法：室温で保存してください。
使用期限：包装に表示の使用期限内に使用してください。承認番号 16 消安第 10777 号
販売開始 2006 年 7 月

本剤は、卵胞ホルモンであるエストラジオール-17βの安息香酸エステルである安息香酸エストラジオールを有効成分とする筋肉内投与用注射液です。エストラジオール-17βは、子宮及び卵管の成長と発達を促し、発情誘起作用や泌乳作用があります。

【組成・性状】

販売名	動物用オバホルモン注
成分・含量	1 mL中安息香酸エストラジオール 2 mg
添加物	1 mL中安息香酸ベンジル0.2 mL, ゴマ油適量
剤形・性状	バイアル（澄明な油性注射液）

【効能・効果】

発情誘起（鈍性発情）、子宮頸管拡張、子宮内異物の排除、子宮發育不全、泌乳不全、犬の人工流産・前立腺肥大

【用法・用量】

通常1日1回1頭当たり安息香酸エストラジオールとして下記の量を筋肉内に注射します。

- 牛：2～5 mg
- 馬：2～5 mg
- めん羊・山羊：1～2 mg
- 豚：1～2 mg
- 犬：1 mg

【使用上の注意】

1. 一般的注意

- (1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師の処方せん・指示により使用してください。
- (2) 本剤は定められた用法・用量を厳守してください。
- (3) 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用してください。
- (4) 本剤投与後下記の期間は、食用に供する目的で出荷等を行わないでください。

- 牛：7日
- 馬：7日
- めん羊・山羊：7日
- 豚：7日

2. 使用者に対する注意

- (1) 誤って人に注射した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- (2) 使用した後、あるいは使用者の皮膚に付着したときは、石けん等でよく洗ってください。
- (3) 妊娠中又は妊娠している可能性のある女性には、注射作業を行わせないでください。

3. 対象動物に対する注意

(1) 制限事項

本剤の投与前には健康状態について検査し、異常を認めた場合は投与しないでください。

(2) 副作用

本剤の有効成分である安息香酸エストラジオールは、発がん性及び催奇形性を示唆する報告があります。

(3) 適用上の注意

バイアル開封後は速やかに使用してください。

4. 取扱い上の注意

使用済みの空容器等は適切に処分してください。

5. 保管上の注意

- (1) 小児の手の届かないところに保管してください。
- (2) 本剤の保管は直射日光及び高温を避けてください。

【薬理作用】

卵胞ホルモンは雌性動物の性器系を發育させるとともに、第二性徴の発現に関与^{1,2,4)}、次の作用を示します。

1. 去勢又は幼若動物において発情作用を示し、腔粘膜細胞の角化現象を起こさせます^{2,3)}。
2. 子宮内膜を増殖させ筋層の肥大を促します^{1,2,4)}。
3. 脳下垂体性ゴナドトロピンの分泌を抑制します^{5,6)}。
4. 乳管の發育を促進します^{2,7)}。

【有効成分に関する理化学的知見】

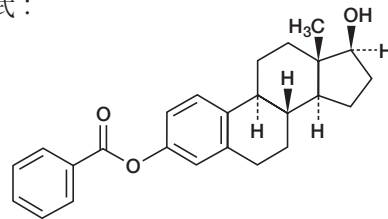
一般名：安息香酸エストラジオール

Estradiol Benzoate

化学名：Estra-1,3,5(10)-triene-3,17β-diol 3-benzoate

分子式：C₂₅H₂₈O₃

化学構造式：



分子量：376.49

融 点：191～198℃

性 状：白色の結晶性の粉末で、においはない。アセトンにやや溶けにくく、メタノール、エタノール(95)又はジエチルエーテルに溶けにくく、水にほとんど溶けない。

【包 装】

動物用オバホルモン注：10 mL×5（バイアル）

【主要文献】

- 1) 加藤順三他：ホルモンと臨床, 23 (増刊) : 196, 1975
- 2) 梅原千治他：ステロイドホルモンⅢ 卵胞ホルモン,
P.55, P.65 (南江堂1971)
- 3) Allen, E. et al. : J. Am. Med. Assoc., 81 : 819, 1923
- 4) 相沢義雄：臨床薬理学大系第12巻 ホルモン, P.63
(中山書店1966)
- 5) 神岡順次：北関東医学, 19 : 96, 1969
- 6) 倉智敬一：現代産科婦人科学大系第4巻B
基礎内分泌Ⅱ, P.429 (中山書店1971)
- 7) 石郷岡 隆：弘前医学, 11 : 537, 1960

【文献請求先】

あすか製薬株式会社 アニマルヘルス部
〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号